

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年7月22日 月曜日 9時00分

天候 晴れ

観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)	
1. 岸信夫 さん前 (15.3)	1	28.5	5.8		珪	240
	3	27.2	6.0	33	珪	360
	5	26.0	5.8		珪	420
2. 大江 (13.5)	1	29.3	5.8		珪	980
	3	27.3	6.0	32	珪	410
	5	26.0	6.0		珪	320
3. 道方 (10.2)	1	28.6	6.0		珪	540
	3	27.1	5.9	33	珪	360
	5	25.4	5.7		珪	320
4. 毛無 (17.3)	1	28.5	5.9		珪	220
	3	27.0	6.1	32	珪	160
	5	25.4	6.0		珪	340
5. この浦 (中央) (13.1)	1	28.5	6.1		珪	600
	3	27.6	6.1	33	珪	440
	5	27.2	6.2		珪	560
6. この浦 (奥) (9.2)	1	28.8	5.5		珪	140
	3	27.6	6.0	32	珪	410
	5	27.1	6.1		珪	380
7. テラマル (20.4)	1	27.5	5.9		珪	280
	3	27.1	6.0	33	珪	160
	5	26.8	6.0		珪	240
8. カマバ (11.8)	1	27.8	6.2		珪	660
	3	27.2	6.2	33	珪	410
	5	26.7	6.1		珪	340

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)
 今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。
 南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。